

2027年
1月

地域金融機関のサイバーセキュリティ再考 ～フロンティアAI時代の善管注意義務と金融レジリエンス～

開催日 | 2027年1月29日(金)

申込
締切

セッションプラン ... 2026年12月18日(金)

リストプラン ... 2027年1月22日(金)

早期申込特別料金
セッションプラン 販売終了 2026年10月16日(金)



一般社団法人 金融財政事情研究会

ITmediaビジネス
ONLINE

開催概要

名称	地域金融機関のサイバーセキュリティ再考 ～フロンティアAI時代の善管注意義務と金融レジリエンス～	イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
主催・企画	 一般社団法人 金融財政事情研究会	事前申込者数	想定150名
企画協力		想定視聴者属性	地方銀行（第一地方銀行、第二地方銀行）、 信用金庫、信用組合を中心とした地域金融機関、および メガバンク（地域管轄拠点・地域連携部門等を含む） の経営者・役員クラス、部長クラス、課長・支店長クラス 法務、コンプライアンス、リスク管理担当部署 ITシステム、サイバーセキュリティ担当部署 サードパーティ（外部委託先）管理、地域金融連携を担う部署
開催日	2027年1月29日(金)	告知・集客	 一般社団法人 金融財政事情研究会 
申込締切	セッションプラン … 2026年12月18日(金) リストプラン … 2027年1月22日(金) 早期申込特別料金販売終了 セッションプラン … 2026年10月16日(金)	運営	アイティメディア株式会社

本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

企画背景

Anthropicの新型AI「Claude Mythos（ミュトス）」に代表される**フロンティアAI**の登場により、サイバー攻撃は自動化・高度化し、人間の対応スピードをはるかに超える事態となっています。1つの金融機関のインシデントが取引や決済システムの遅延を通じて市場全体に連鎖・波及する「**システミックリスク（金融システム全体の機能不全リスク）**」への懸念から、政府や金融当局も対策を急いでいます。

これに伴い、金融庁は各種ガイドラインにおいて**サイバーリスクを企業経営に重大な影響を与えるトップリスクと位置付けて**います。万が一インシデントが発生した場合、金融機関の経営陣や法務・コンプライアンス部門には、サイバー防衛に対する「**善管注意義務**」を果たしていたか、さらには共通のソフトウェアや外部委託先に起因する「**サードパーティリスク**」を適切に管理・監督していたかという、極めて重い**法的責任**が問われます。

フロンティアAIのような新たな脅威に対してはメガバンクが先行して対策を進める一方で、IT予算や専門人材が限られている**地域金融機関**では、法的な要求水準と侵入前提の「**金融レジリエンス（業務とシステムの強靱性）**」をいかに構築するかが課題となっています。また、連携先である地域金融機関の対策状況は、メガバンクにとっても重要なサードパーティリスク管理の対象となります。

本セミナーは、金融実務家や法律の専門家を招き、IT部門だけでなく法務・リスク管理部門をも対象として、**フロンティアAI脅威に対する「法的な備え」と「実践的なサイバー防衛策」を再考**します。

Appendix ～キーワード～

- ・ 金融庁「サイバーセキュリティに関するガイドライン」
- ・ 経営陣の責務 / 善管注意義務
- ・ ITガバナンス / コンプライアンス
- ・ サードパーティリスク管理（外部委託先の管理）
- ・ オペレーショナル・レジリエンス（業務中断を前提とした強靱性）
- ・ アイデンティティ・ガバナンス（IGA / 適切な権限管理）
- ・ SBOM（ソフトウェア部品表）とサプライチェーン保護
- ・ システミックリスク / インフラ停止リスク
- ・ サイバーセキュリティセルフアセスメント（CSSA）
- ・ TLPT（脅威ベースのペネトレーションテスト）
- ・ フロンティアAI対策（AI Vulnerability Storm）
- ・ VulnOps（継続的な脆弱性管理）
- ・ ビヘイビアAI（振る舞い検知・異常検知）
- ・ アタックサーフェスマネジメント（ASM / 攻撃面管理）
- ・ セグメンテーション（ネットワーク分割による被害極小化）
- ・ ゼロトラスト / 多層防御
- ・ インシデント・レスポンス（IR）と初動対応
- ・ クラウドセキュリティ / セキュアなデータ管理
- ・ セキュリティ・バイ・デザイン（設計段階からのリスク低減）
- ・ 脅威インテリジェンス



メディアガイド | 一般社団法人 金融財政事情研究会

金融財政に関する知識の啓蒙普及を行うとともに、内外の金融財政問題、金融機関経営分析等の総合的調査研究を行い、合理的金融財政政策の実現、金融市場、金融機関の健全な発展並びに学術の振興に寄与することを目的とした、一般社団法人。発行する「週刊金融財政事情」は全金融関係者必読の情報誌とされている。



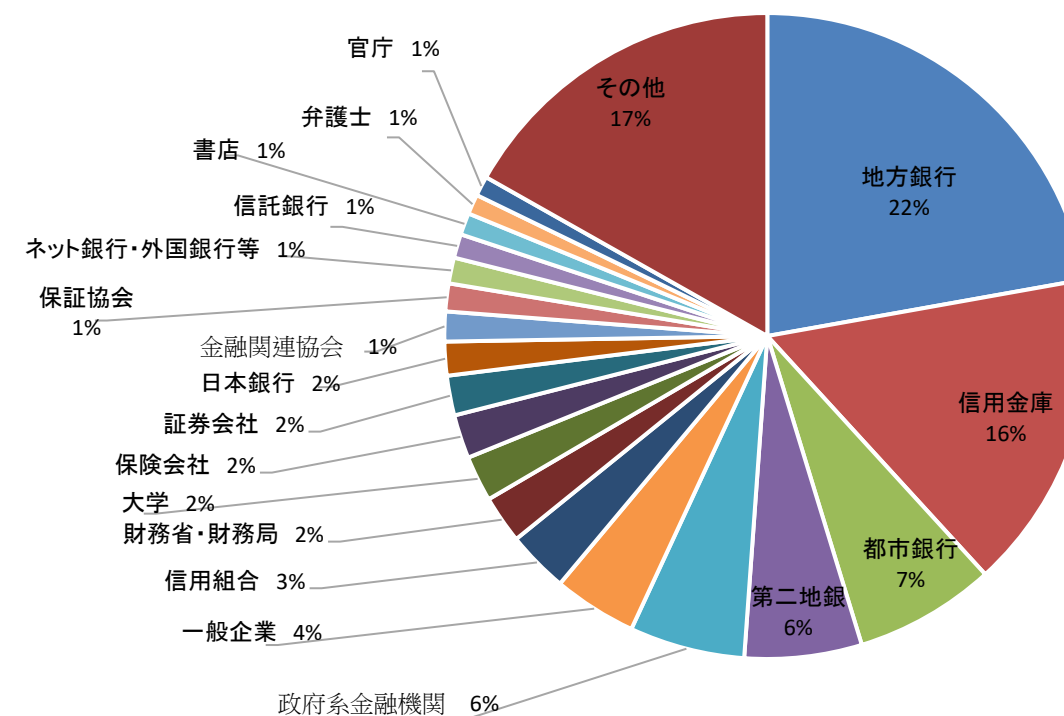
／全金融関係者必読の情報誌／

発行部数 **45,000部**

閲覧者数 **50,000人**

※WEB版も含む

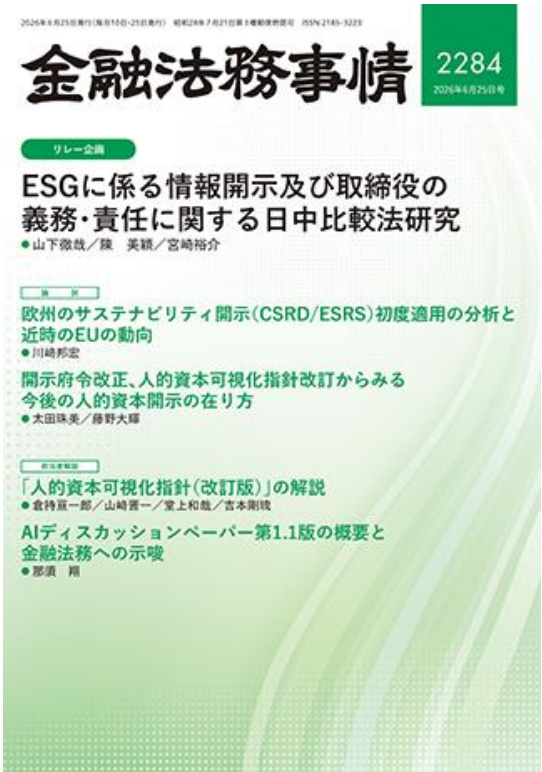
『週刊金融財政事情』定期購読先分類





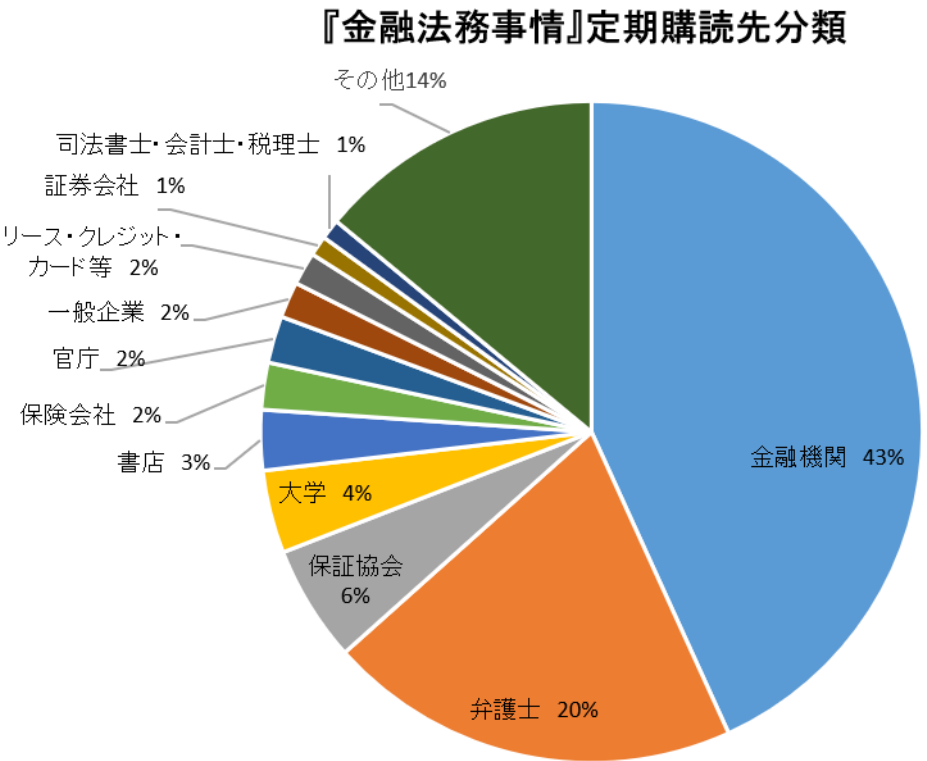
メディアガイド | 金融法務事情

「実務の視点」をテーマに 金融法務をリードする専門誌。
本誌は1953年6月に、金融機関の法律実務のリーディング誌として、金融法務の知識向上と普及に資する目的で刊行され、創刊73周年を迎える。



＼全金融関係者必読の情報誌／

発行部数 **8,800部**



「デジタル戦略リーダー」に向けた実践情報メディア

- 媒体名
- 媒体資料
- URL
- 月間PV
- 会員数

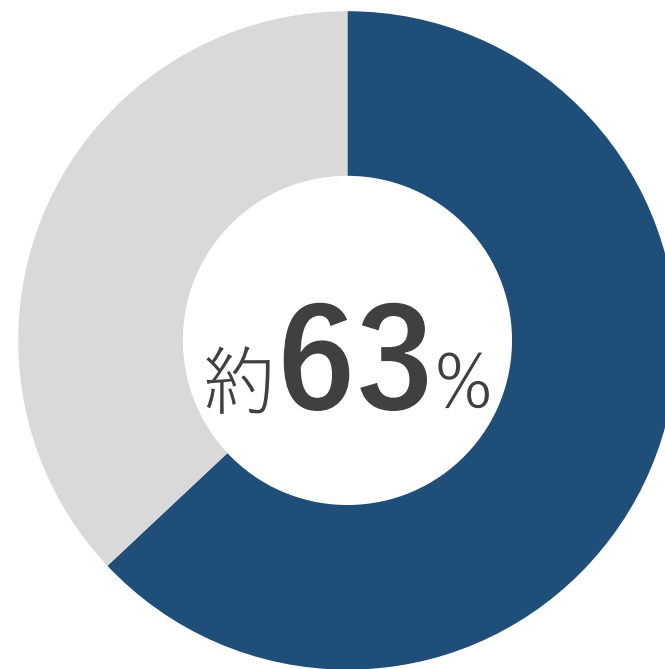
ITmedia ビジネスオンライン

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-09-30/sx438b>

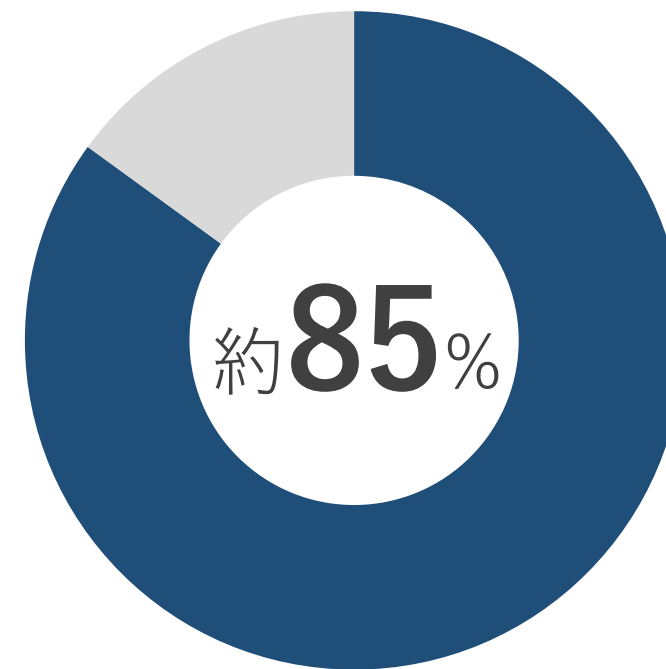
<https://www.itmedia.co.jp/business/>

約1800万 PV ※2025年2月実績

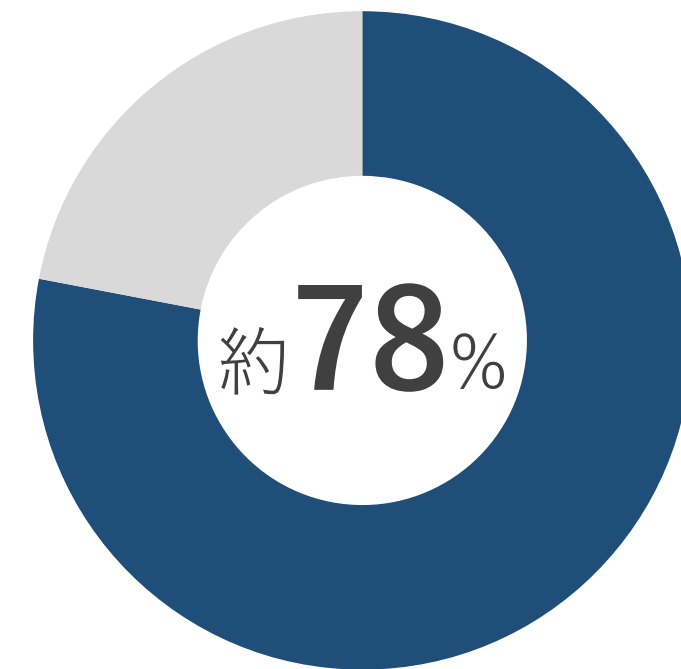
約28万人 ※2025年2月実績



DX推進関与者



業務プロセスのデジタル化に関心



ビジネスモデル変革に関心

タイムテーブル

時間	枠時間	
10:00-10:30	30分	基調講演
10:40-11:10	30分	スポンサーセッション 1
11:20-11:50	30分	特別講演 1
12:00-12:30	30分	スポンサーセッション 2
13:30-14:00	30分	特別講演 2
14:10-14:40	30分	スポンサーセッション 3
14:50-15:20	30分	特別講演 3
15:30-16:00	30分	スポンサーセッション 4
16:10-16:25	15分	スポンサーショートセッション 5
16:35-16:50	15分	スポンサーショートセッション 6

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー

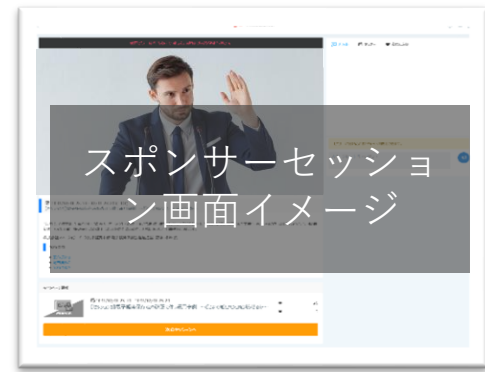
	セッションプラン			リストプラン
	スポンサー セッション1、2	スポンサー セッション3、4	スポンサーショート セッション	
スポンサーセッション Live配信＋アーカイブ	●	●	●	—
全申込者リスト	150名想定	150名想定	最大75名 ※申込者のうち先着順でのリード 納品となります。	150名想定
セッションアンケート	●	●	●	—
視聴者データ・レポートサイト	●	●	●	—
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	●	●	—
開催報告書	●	●	●	●
料金 （すべて税別・グロス価格）	販売終了 ¥3,500,000-	¥3,000,000-	¥1,800,000-	¥2,500,000-
2026年10月16日(金)までのお申込みが対象 早期申込特別料金 （すべて税別・グロス価格）	販売終了 ¥3,000,000-	¥2,700,000-	¥1,500,000-	—

※お申込者数は想定値となります。
※ご協賛状況により、実施は見合わせする場合がございます。事前のご了承、およびお申込み締切にご協力頂けますようお願い致します。
※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー 詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能



| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者の名刺情報のリストをご提供
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・職種・役職クラス・従業員規模・関与など
- イベント終了後3～5営業日以内にExcelデータ形式にて納品

| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示

| 視聴者データレポートサイト

- セッションのレポートサイトをご提供
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報
※DL可能

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供
- ※アイティメディア側で設定のため個別設定不可

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供
- 個人情報は含まない集計データでの提供

※画像はイメージです。

| LIVEセッション録画データ納品

セッション動画を逃さず活用！ プレゼンの力を倍増させる録画データ納品

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000～**

| セッション収録サポート

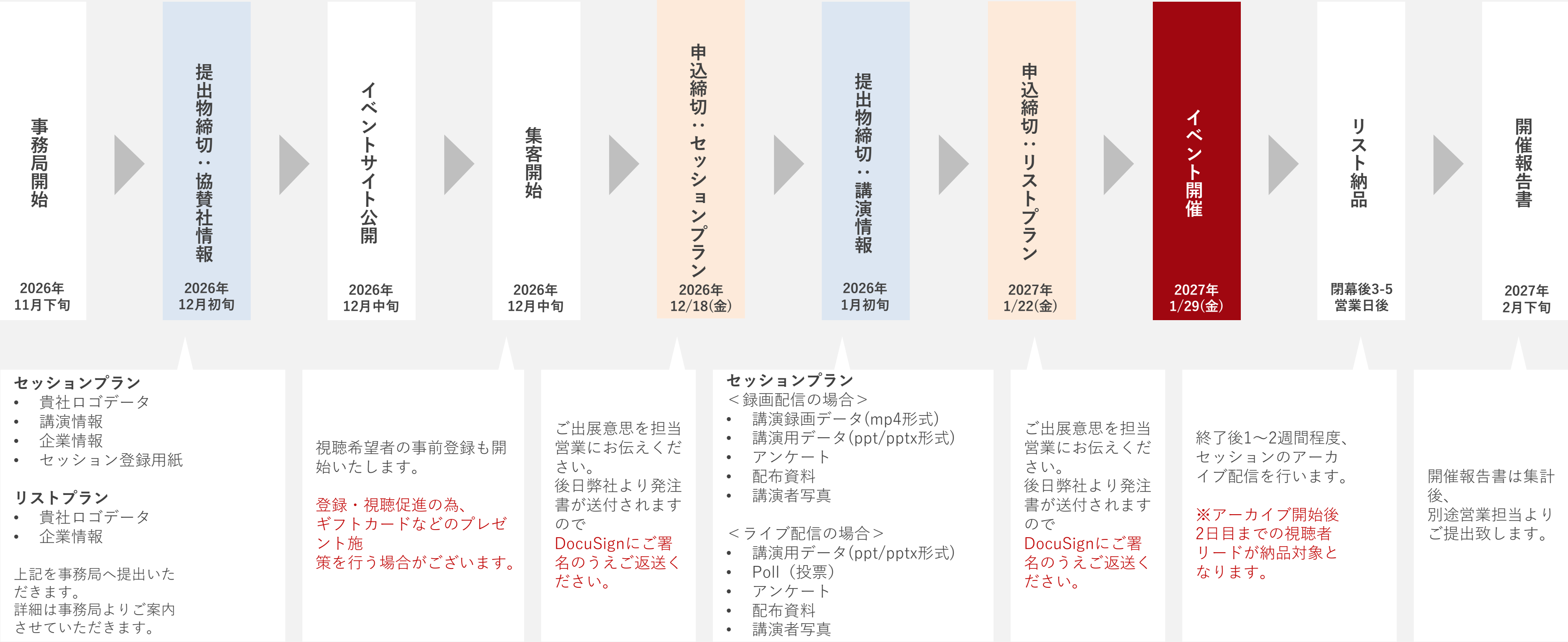
プロ仕様のセッション動画制作！ 手軽に魅力を伝えよう

- 30分or15分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥200,000～**

お申込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡致します。



ご留意事項

｜キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル
登録用紙の提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル ：50％
開催日40日以内のキャンセル ：100％

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

｜消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

｜配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

｜オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10％以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 類似イベント開催実績



タイトル	金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春
日時	2026年5月14日（木）9:55～16:00 ※5月31日までアーカイブ配信
形式	ライブ配信セミナー
対象	メガバンク、地方銀行（第一地方銀行、第二地方銀行）、信用金庫、信用組合、保険会社、証券会社等金融機関の経営者・役員クラス、部長クラス、課長・支店長クラス、セキュリティ担当部署の方など
参加費	無料
主催	一般社団法人 金融財政事情研究会
企画協力	ITmedia ビジネスオンライン
協賛 （※50音順）	Okta Japan株式会社 SailPoint Technologies Japan合同会社 株式会社TwoFive 東京エレクトロン デバイス株式会社 Pentera Security, Inc. Rubrik Japan株式会社
申込みページURL	https://v2.nex-pro.com/campaign/92459/apply?group=2605_FinanceCS
報告書URL	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-06-01/2d3t8hs

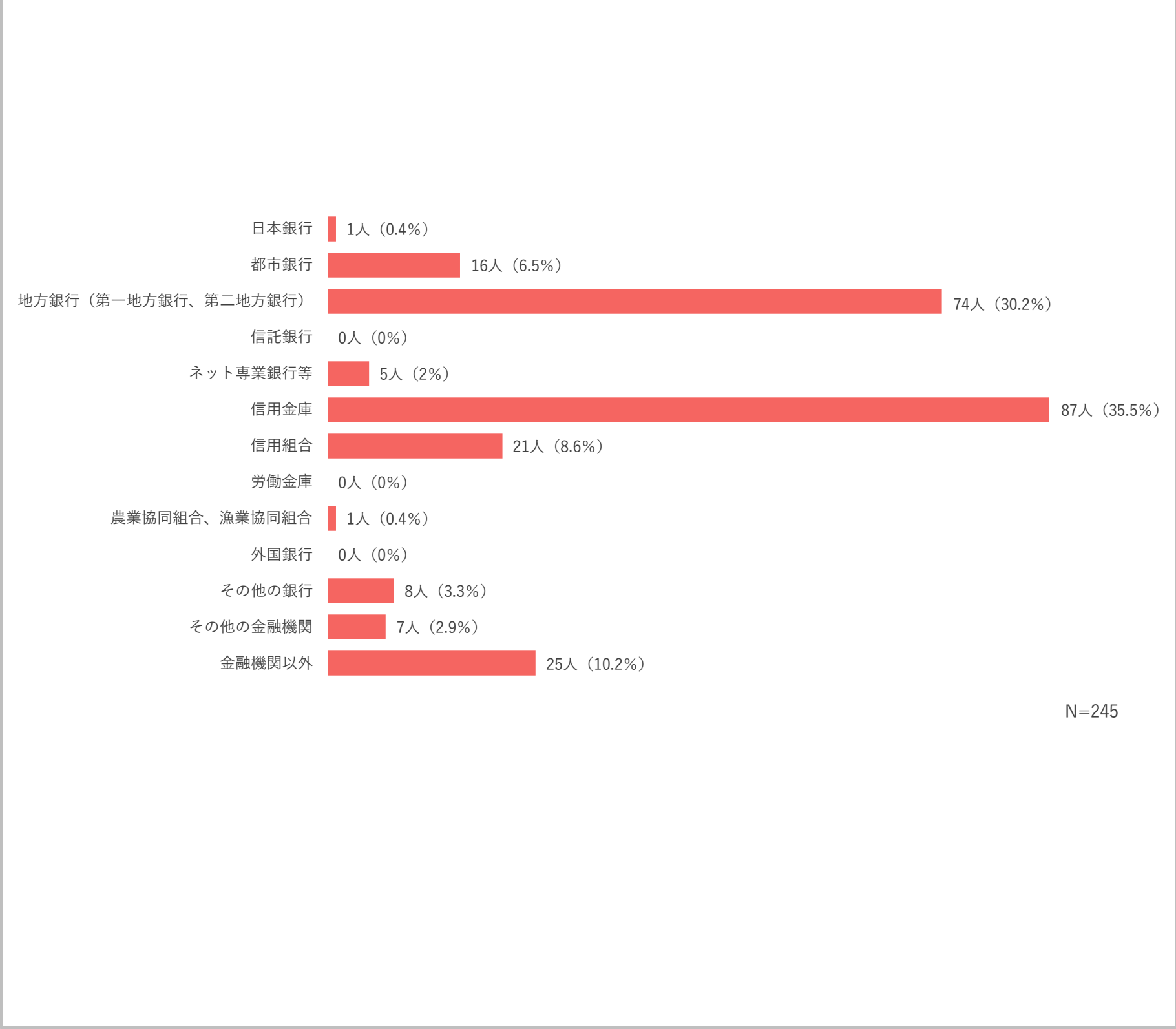
9:55～10:00 主催者挨拶	主催者挨拶 一般社団法人金融財政事情研究会 理事長 加藤 一浩
10:00～10:30 基調講演	金融機関を取り巻く最近のサイバー脅威動向と求められる対策 日本銀行 金融機構局 参事役兼上席考査役（システム・業務継続担当） 塩谷 匡介 氏
11:20～11:50 特別講演1	被害事例から紐解くサイバー危機発生時の経営判断 株式会社Armoris 取締役専務／CTO 一般社団法人金融ISAC アドバイザー 鎌田 敬介 氏
13:30～14:00 特別講演2	地方金融機関の現場で見た組織課題と次の一歩 サイバーセキュリティアドバイザー 名和 利男 氏
15:30～16:00 特別講演3	SMBCグループにおけるサイバーセキュリティの取組み 三井住友フィナンシャルグループ 三井住友銀行 サイバーセキュリティ統括部 統括グループ グループ長 柏倉 信貴 氏

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| ● 日本日本銀行 | ● 南都銀行 | ● 帯広信用金庫 |
| ● みずほ銀行 | ● 紀陽銀行 | ● 青い森信用金庫 |
| ● 三井住友銀行 | ● 池田泉州銀行 | ● 一関信用金庫 |
| ● りそな銀行 | ● 山陰合同銀行 | ● 鶴岡信用金庫 |
| ● SBI新生銀行 | ● 伊予銀行 | ● 福島信用金庫 |
| ● あおぞら銀行 | ● 百十四銀行 | ● 結城信用金庫 |
| ● セブン銀行 | ● 福岡銀行 | ● 足利小山信用金庫 |
| ● 大和ネクスト銀行 | ● 佐賀銀行 | ● 川崎信用金庫 |
| ● ローソン銀行 | ● 肥後銀行 | ● 青木信用金庫 |
| ● UI銀行 | ● 鹿児島銀行 | ● 川口信用金庫 |
| ● 北海道銀行 | ● 琉球銀行 | ● 埼玉縣信用金庫 |
| ● 青森みちのく銀行 | ● 沖縄銀行 | ● 青梅信用金庫 |
| ● 岩手銀行 | ● 国際協力銀行 | ● 朝日信用金庫 |
| ● 北陸銀行 | ● 東日本銀行 | ● 芝信用金庫 |
| ● 七十七銀行 | ● 東京スター銀行 | ● さわやか信用金庫 |
| ● 山形銀行 | ● 北日本銀行 | ● 巢鴨信用金庫 |
| ● 東邦銀行 | ● 仙台銀行 | ● 足立成和信用金庫 |
| ● 常陽銀行 | ● きらやか銀行 | ● 東京三協信用金庫 |
| ● 群馬銀行 | ● 徳島大正銀行 | ● 小松川信用金庫 |
| ● 千葉銀行 | ● 愛媛銀行 | ● 東京東信用金庫 |
| ● 第四北越銀行 | ● 福岡中央銀行 | ● 横浜信用金庫 |
| ● 八十二長野銀行 | ● 豊和銀行 | ● かながわ信用金庫 |
| ● 静岡銀行 | ● 沖縄海邦銀行 | ● 湘南信用金庫 |
| ● 清水銀行 | ● みなと銀行 | ● さがみ信用金庫 |
| ● 百五銀行 | ● 信金中央金庫 | ● 甲府信用金庫 |
| ● 三十三銀行 | ● 苫小牧信用金庫 | ● 飯田信用金庫 |
| ● 滋賀銀行 | ● 室蘭信用金庫 | ● 福井信用金庫 |
| ● 京都銀行 | ● 釧路信用金庫 | ● 銚子信用金庫 |

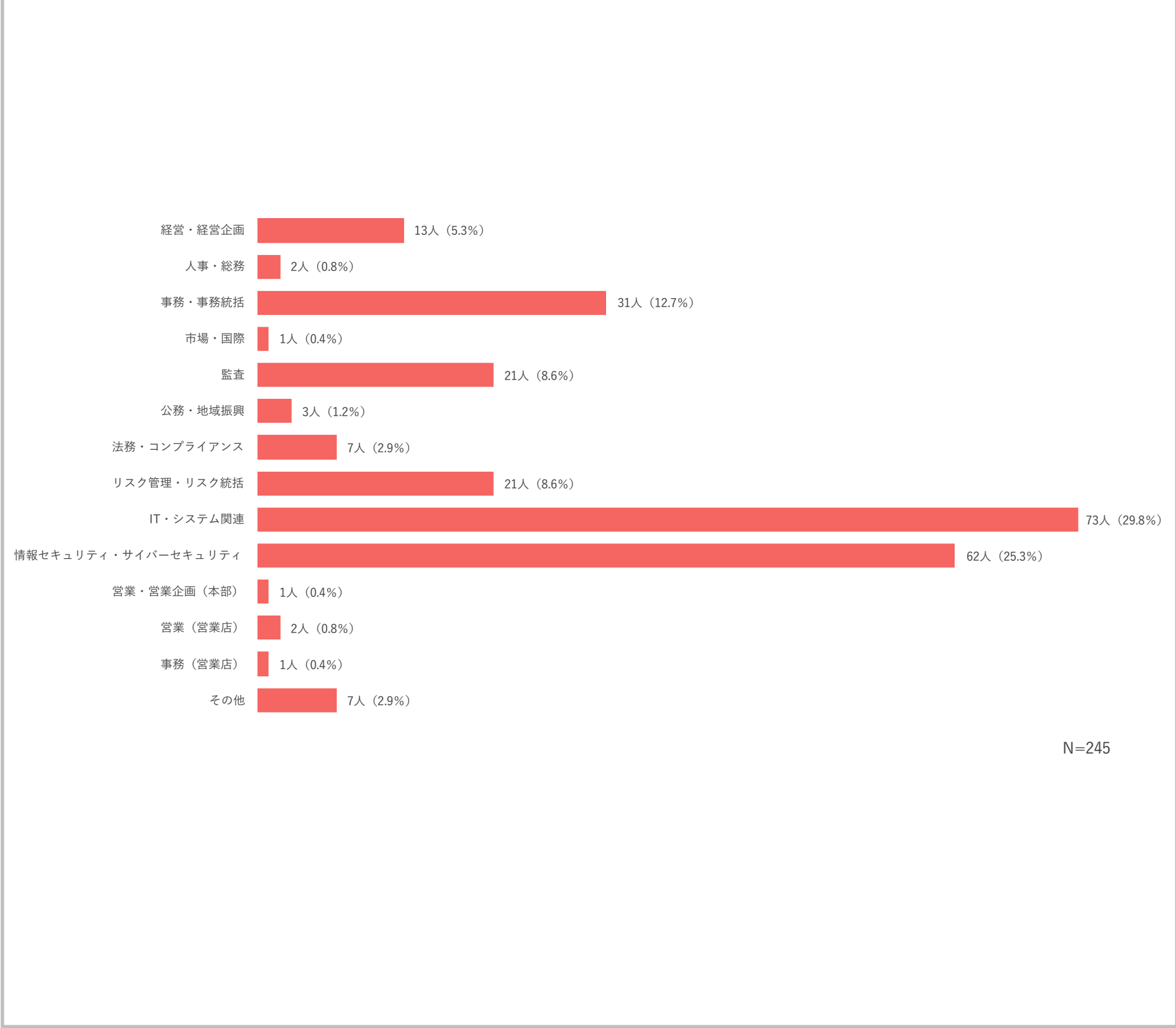
- 金沢信用金庫
- のと共栄信用金庫
- 高岡信用金庫
- 興能信用金庫
- 富士宮信用金庫
- 島田掛川信用金庫
- 岡崎信用金庫
- 西尾信用金庫
- 蒲郡信用金庫
- 碧海信用金庫
- 半田信用金庫
- 中日信用金庫
- 北伊勢上野信用金庫
- 大垣西濃信用金庫
- 関信用金庫
- 京都中央信用金庫
- 京都北都信用金庫
- 大阪信用金庫
- 大阪シティ信用金庫
- 永和信用金庫
- 兵庫信用金庫
- 姫路信用金庫
- 播州信用金庫
- 但馬信用金庫
- 淡路信用金庫
- 但陽信用金庫
- 大和信用金庫
- 新宮信用金庫
- きのくに信用金庫
- 吉備信用金庫
- 玉島信用金庫
- 呉信用金庫
- 東山口信用金庫
- 飯塚信用金庫
- 大川信用金庫
- 鹿児島相互信用金庫
- 北央信用組合
- 那須信用組合
- あかぎ信用組合
- 群馬県信用組合
- 長野県信用組合
- 房総信用組合
- 豊橋商工信用組合
- 滋賀県民信用組合
- 大阪協栄信用組合
- 近畿産業信用組合
- 兵庫県警察信用組合
- 神戸市職員信用組合
- 福泉信用組合
- 佐賀東信用組合
- 大分県信用組合
- 農林中央金庫
- なぎさ信用漁業協同組合連合会
- 西日本シティ銀行
- みずほフィナンシャルグループ
- 九州フィナンシャルグループ
- 日本証券金融
- 住宅金融支援機構
- 愛知銀行
- auペイメント
- 伊藤忠テクノソリューションズ
- SBI証券
- 警視庁
- しんきん共同センター
- セブン&アイ・ホールディングス
- SOMPOホールディングス
- 損害保険ジャパン
- 第一ネオ生命保険
- 大同生命保険
- タニウム
- ちばぎん証券
- 日本総合研究所
- 日本郵政
- ニッセイプラス少額短期保険
- フィデアホールディングス
- プルデンシャル・ジャパン・テクノロジー
- 毎日新聞社
- 三井住友カード
- 明治安田システム・テクノロジー
- 楽天Edy
- りそなデジタル・アイ
- ロッソオートジャパン
- 全国信用金庫協会
- 全国信用組合中央協会

金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 視聴者向け主催アンケート

金融機関分類

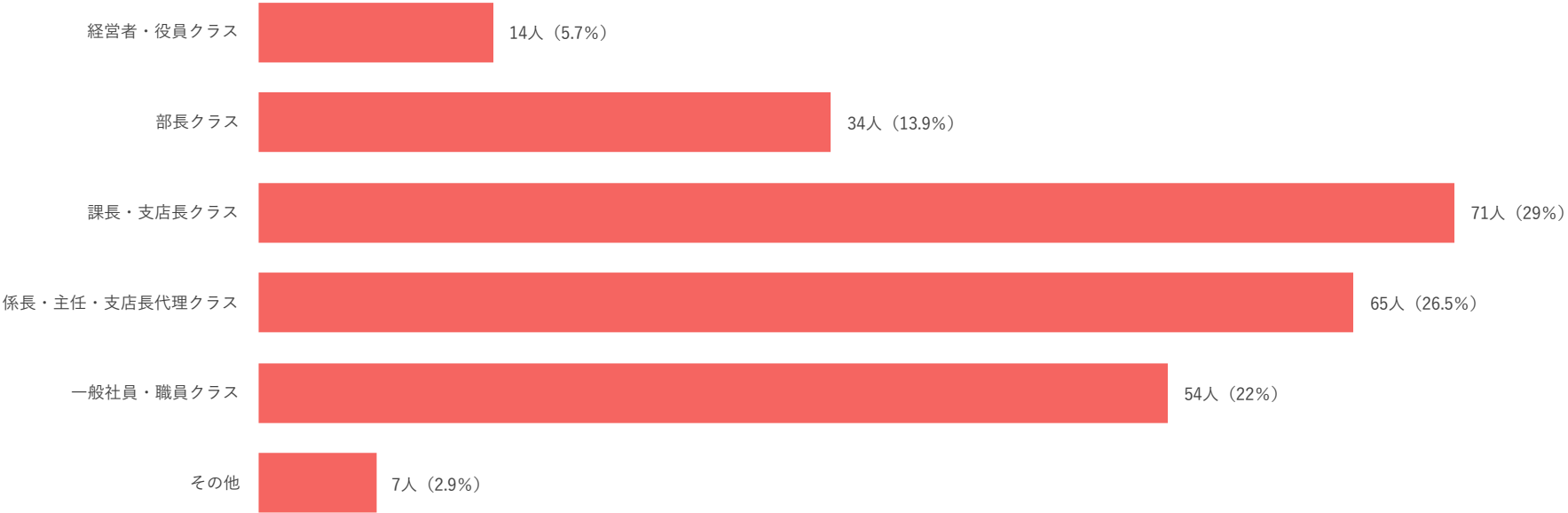


職種



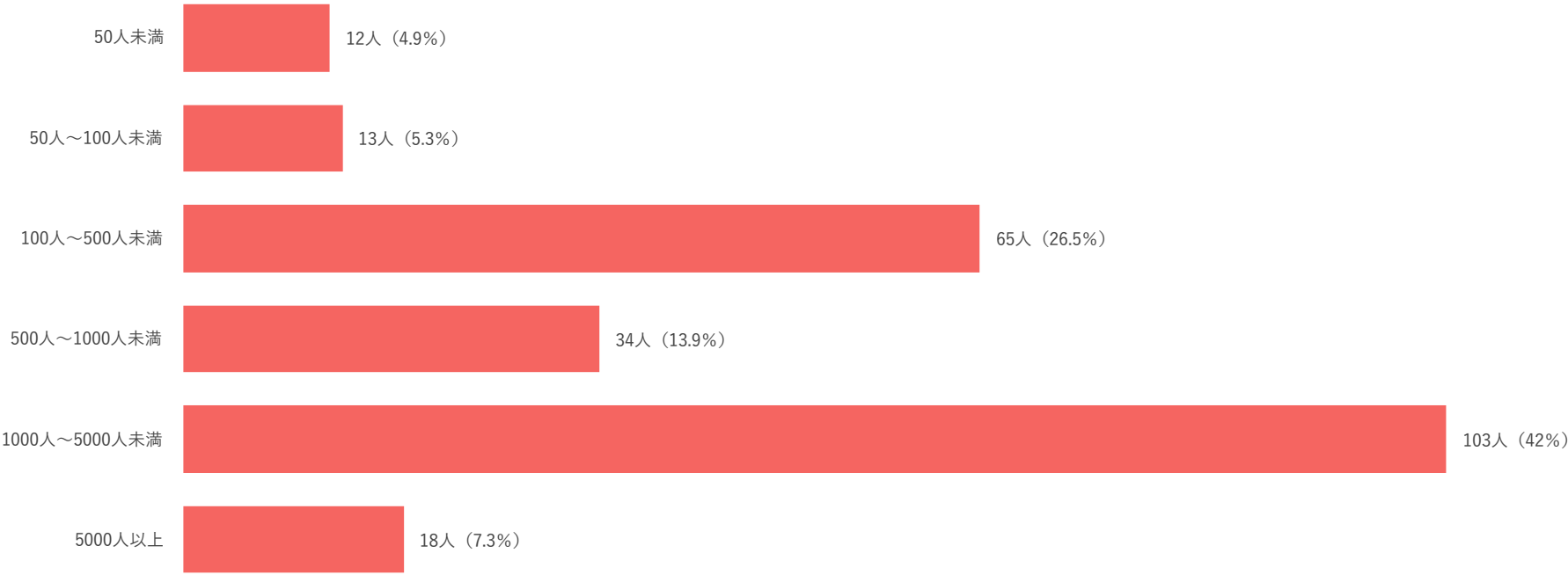
金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 視聴者向け主催アンケート

役職

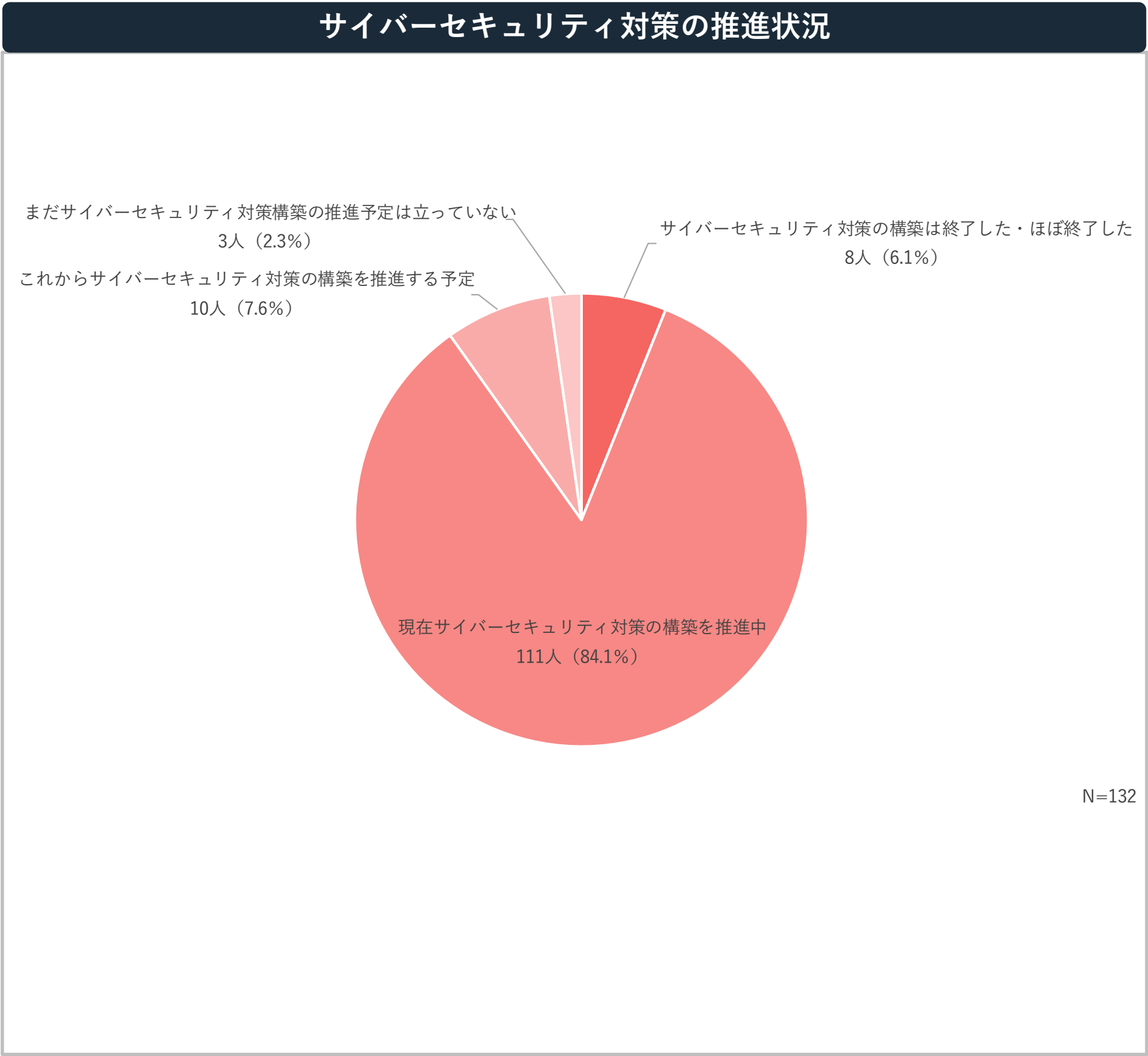
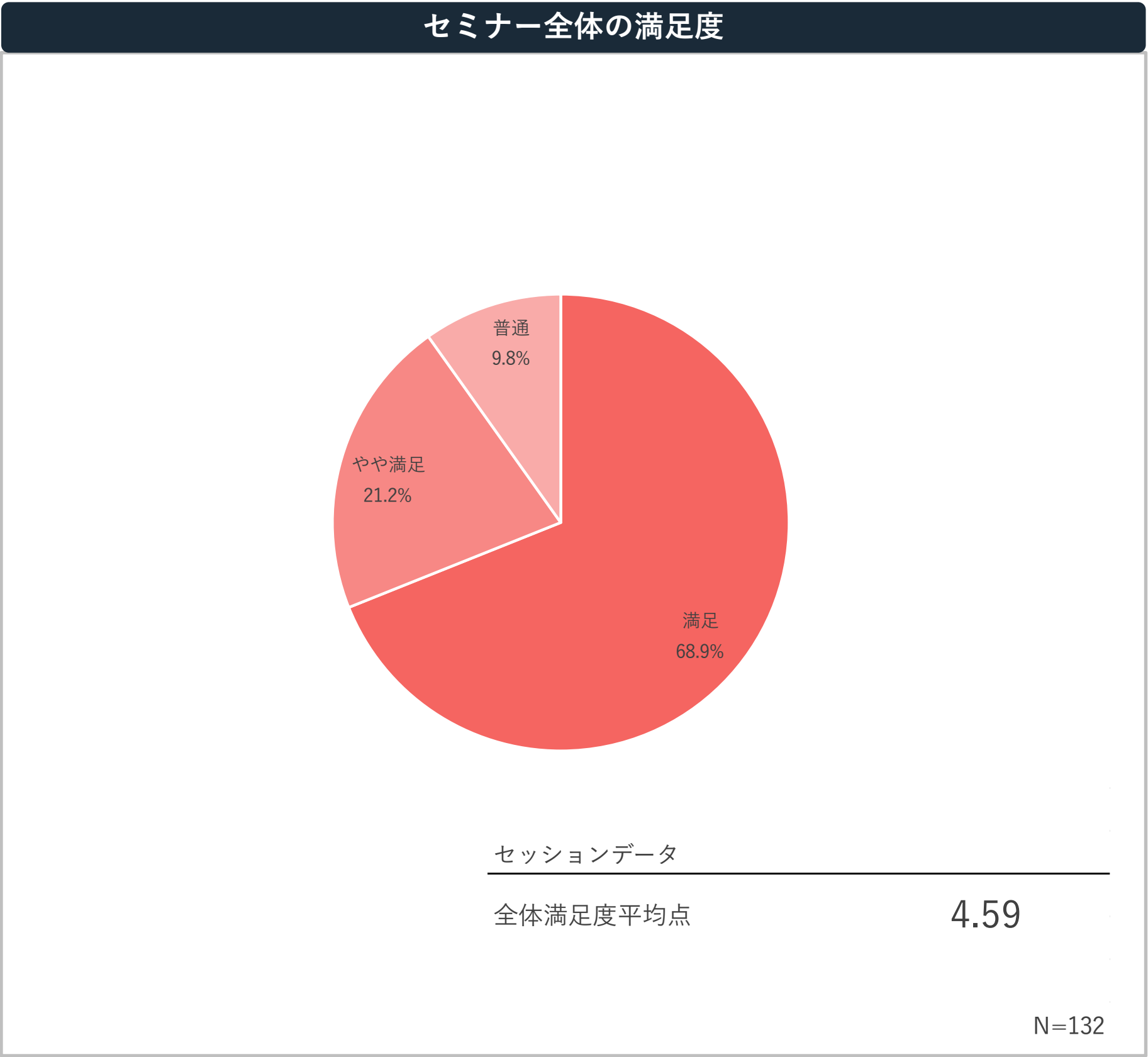


N=245

従業員規模



N=245





一般社団法人 金融財政事情研究会

ITmediaビジネス
O N L i N E

アイティメディア株式会社

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル13F

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

担当：営業本部